

香川県

Kagawa



【香川でよく使われる主な方言】

オトツチャマ〈憶病者〉	ネンゴ〈自慢〉	ムツゴイ〈味がしつこい〉
マンデガン〈全部〉	タグル〈咳をする〉	オタシヤコシ〈私なんか〉
オキル〈満腹になる〉	ヒニシル〈つねる〉	リクツゲナ〈格好つけた〉
ガイナ〈気の強い〉	ヒョーゲル〈おどける〉	～ノイヤ〈～のか〉
ホッコゲナ〈馬鹿げたさま〉	ヒシテガイ〈1日おき〉	マンガニ〈まれに〉
ミマイ〈見なさい〉	イズミ〈井戸〉	イタダキサン〈魚の行商の女性〉
ケッコー〈きれい〉	オミーサン〈雑炊〉	ジョンナラン〈どうにもならない〉



香川県9町



土庄町	HP: http://www.town.tonosho.kagawa.jp/
小豆島町	HP: http://www.town.shodoshima.lg.jp/
三木町	HP: http://www.town.miki.lg.jp/index.html
直島町	HP: http://www.town.naoshima.lg.jp/
宇多津町	HP: http://town.utazu.kagawa.jp/
綾川町	HP: http://www.town.ayagawa.kagawa.jp/
琴平町	HP: http://www.town.kotohira.kagawa.jp/
多度津町	HP: http://www.town.tadotsu.kagawa.jp/
まんのう町	HP: http://www.town.manno.lg.jp/



海・山・人！魅力あふれる町

土庄町

と
の
し
よ
う
ち
よ
う



エンジェルロード～天使の散歩道～

潮の満ち引きで道が現れたり消えたりして、引き潮の時は向かいの余島まで渡ることができる人気の観光スポットである。

このエンジェルロードは「大切な人と訪れ、手をつないで渡ると二人の間に天使が舞い降り、願いを叶えてくれる」という、とてもロマンチックなスポットとなっている。

戦国ロマンの夢のあと 道の駅・みなとオアシス 「大坂城残石記念公園」

約400年前、大坂城修築のために切り出されながら使われなかった巨石を中心に整備された公園。



世界で一番狭い海峡 土洲海峡

土洲海峡は、幅は最少9.93メートルで、ギネスブックに世界一「狭い」海峡として認定されている。海峡横の土庄町役場では横断証明書を発行している。

小豆島のブランド牛 オリーブ牛

オリーブ牛は、飼料に、オイルを搾った後のオリーブ粕を加えて育てあげた県産黒毛和牛。土庄町はオリーブ牛発祥の地。オリーブオイルに含まれるオレイン酸が肉質の旨みを引き立てている。



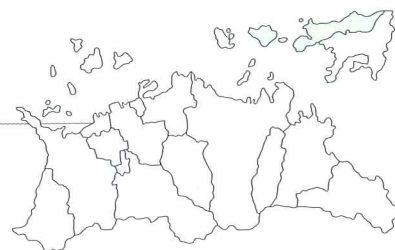
**受け継がれる伝統と文化
肥土山農村歌舞伎**
国重要文化財の舞台で歌舞伎芝居が毎年5月3日に上演される。地元役者の熱演に、棧敷を埋めた観客からやんやの喝采が送られる。約300年の歴史を誇る伝統行事である。



【問い合わせ先】
土庄町企画課 TEL0879-62-7014

DATA

総人口 14,891人
世帯数 6,277世帯
面積 74.39km²
人口密度 200人/km²



小豆島町

中山千枚田
心なごむ日本の原風景

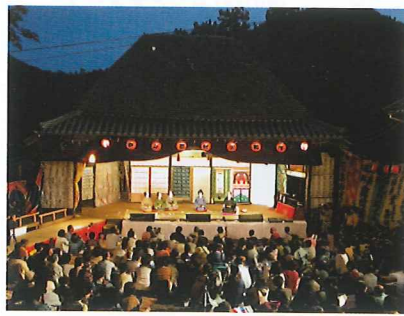


田植えが終わってすぐの中山千枚田。季節によって色んな表情を見せ、訪れる人を楽しませてくれる。



日本名水百選に選ばれた湯船の水。山腹から湧き出る水は、干ばつの時にも枯れることがないといわれている。

【問い合わせ先】
小豆島町商工観光課 TEL0879-82-7007



約300年前から、中山の春日神社で奉納芝居として上演が続けられている農村歌舞伎。「わりご」弁当で酒を酌み交わしながら楽しむ。

道の駅 小豆島オリーブ公園
輝く海を渡る地中海からの風

穏やかな瀬戸の海が眼下に見渡せ、まるで地中海を思わせる道の駅。小豆島オリーブ公園。オリーブの情報が満載のオリーブ記念館、150種類もの香りが楽しめるハーブガーデン、抜群のロケーションが広がるギリシャ風車など様々なスポットがある。そこで、ハーブやオリーブのクラフトを作ったり、摘みたてのハーブティーを飲んだりして楽しんでほしい。ハーブ浴などの各種温泉が楽しめる、トレーニングルームも完備したサン・オリーブも併設している。

【問い合わせ先】
小豆島オリーブ公園 TEL0879-82-2200

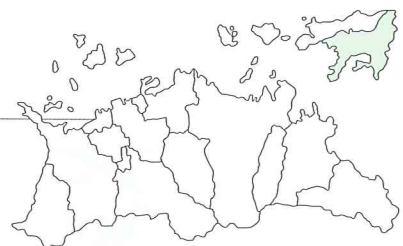


青い瀬戸の海を見渡せ、園内では50種類、2000本のオリーブが植栽されており、日本ではここにしかないオリーブの木もある。



DATA

総人口 15,969人
世帯数 6,677世帯
面積 95.63km²
人口密度 167人/km²



三木町

みきちょう

獅子たちの里
人と地域が輝き
活力と笑顔あふれるまち
三木



迫力満点の天野神社大獅子

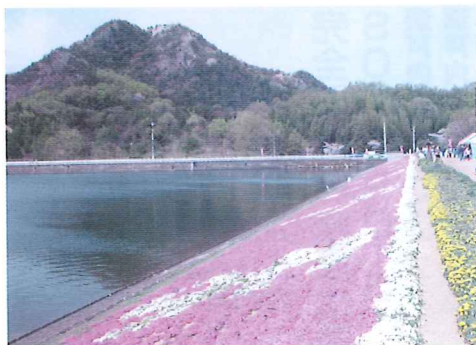


山大寺池の堤の桜・シバザクラ、紅ノ滝キャンプ場で紅葉と荘厳な滝、高仙山山頂からの眺め。三木町にはみどころがいっぱい！
高松市のベッドタウンとして発展してきた三木町には3神社（氷上八幡神社・天野神社・四条鯉河神社）の大獅子と53もの小獅子連があり、特に氷上八幡神社の大獅子は高さ17メートル、幅2.6メートル、重さ200キログラムの日本最大級のジャンボ獅子だ。獅子頭は20人の大人が持ち上げ、長さ28メートルの胴体には50人の男たちが入る。秋祭りには豊作祈願で大小の獅子達が町中で舞い踊る。



【問い合わせ先】

三木町 産業振興課 TEL087-891-3308



毎年多くのファンが駆けつける

【問い合わせ先】

B&G海洋センター TEL087-899-1155

山大寺池のシバザクラ まるで桜のじゅうたんの様な眺め

山大寺池は本町2番目に大きい池で、嶽山とセツトでさぬき百景に選ばれている。シバザクラは4,000平方メートルの広さに植えられており、花のピンクと水の青がみごとな眺めをつくっている。



いちごのワイン
おウチで飲んでもよし
お土産や贈り物にもピッタリ
三木町と北海道の七飯町との姉妹都市縁組を機会に町の特産いちご「女峰」から「いちごのワイン」が誕生した。女峰いちごのほのかな甘い香りと爽やかな味わいが女性に人気だ。

フルーツワインとしてはトップクラスのフルーツ含有量を誇り、部屋中に爽やかな香りが漂う。

【問い合わせ先】

三木町 産業振興課 TEL087-891-3308

DATA

総人口 28,351人
世帯数 10,678世帯
面積 75.78km²
人口密度 379.9人/km²



な お し ま ち ょ う

直島町



建築、教育、産業、アート、環境を町づくりの柱に
瀬戸内海から世界へ 自然と文化と環境の島 明日を拓く直島町



草間彌生「赤かぼちゃ」2006年 直島・宮浦港緑地

宮浦港にひととき目立つ赤カボチャ。フェリーから見えるようになるとデッキは人でいっぱい

島の南側から瀬戸大橋を望む風景。4月初旬にはつじが一面を覆い、春の日差しでまばゆいばかり。



高松市サンポート高松からフェリーで約1時間、岡山県玉野市宇野港からは約20分の船旅を経て到着する直島町宮浦港では赤いカボチャがお出迎え。直島に上陸するころには日常の時間に追われる生活からは別世界のゆったりとした時間が流れる。備讃瀬戸の風光明媚な景色を望めるベネッセアートサイト直島のある南部の観光地域、環境産業にも取り組む三菱マテリアル(株)直島製錬所を中心とした北部の工業地域、文教施設の集中する中心部の文教地区、昔ながらの町並みが残り、家プロジェクトも展開されている東部の本村地区。多様な面を持つ島をのんびりと楽しんでもらいたい。

【問い合わせ先】

直島町役場 TEL087-892-2222

宮浦港で帰りのフェリーを並んで待つ人たち。瀬戸内国際芸術祭2010での賑わいの風景。



瀬戸内の温暖な気候や、豊かな海水などの自然の恵み。そして昔、島で盛んに行われていた製塩技術を活かし、直島つり公園・塩製造所にて太陽の日差しをじっくり浴びて創り出された「SOLASHIO(ソラシオ)」。

この塩の中には、カルシウムが豊富に含まれており、ほんのり甘みも感じられる逸品。

完全天日産直島太陽塩
SOLASHIO



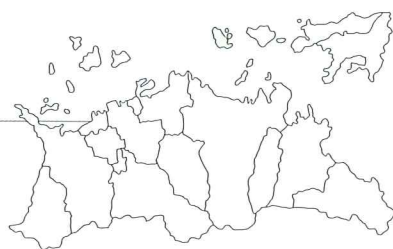
完全天日産直島太陽塩 SOLASHIO

【問い合わせ先】

直島町観光協会 TEL087-892-2299

DATA

総人口 3,270人
世帯数 1,523世帯
面積 14.23km²
人口密度 229.80人/km²





宇多津町

うたづ ちよう

恋人の聖地 うたづ海ホテル

遊ぶ、学ぶ、食べる、恋する



うーみん ゆーみん

うたづ海ホテルは町の歴史・情報・塩に関する歴史などをマルチメディア映像や天井いっぱいの大画面で紹介している。また、カフェレストランなどみんなが気軽に利用でき楽しめる施設。2006年に「恋人の聖地」に指定されて以来、瀬戸内海を望む「恋人の聖地」として多くの恋人たちを迎えている。夕陽の美しいスポットとして好評を得ており、モニュメントに永遠の愛を誓う微笑ましい姿が見られる。



昔ながらの塩づくりを体験できる「復元塩田&釜屋」。貴重な塩田と萱ぶき屋根の釜屋で、昔ながらの塩づくりが体験できる。



資料館の隣にユニークでカラフルな遊具16基があり、広場には幼児用便座・ベビーマットを備えたトイレもあり、小さなお子さま連れのパパやママも安心です。



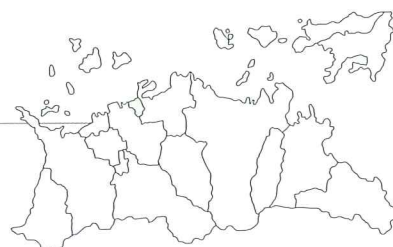
町内農家で生産 鵜足津の古代米
宇多津町の農業振興、新たな特産品の創造、地域の活性化という想いがうたづられた。
町内産の古代米で作った古代米低アルコール飲料リゼニール(平成19年かがわ県産品コンクール最優秀賞受賞)

国内では数少ない製法復元塩田・手作りの塩。宇多津入浜式の塩・にがりうたづの塩が甘さを引き立てるうたづ塩キャラメル

【問い合わせ先】
宇多津町 産業振興課 TEL0877-49-8009

DATA

総人口 17,578人
世帯数 7,642世帯
面積 8.07km²
人口密度 2,178人/km²



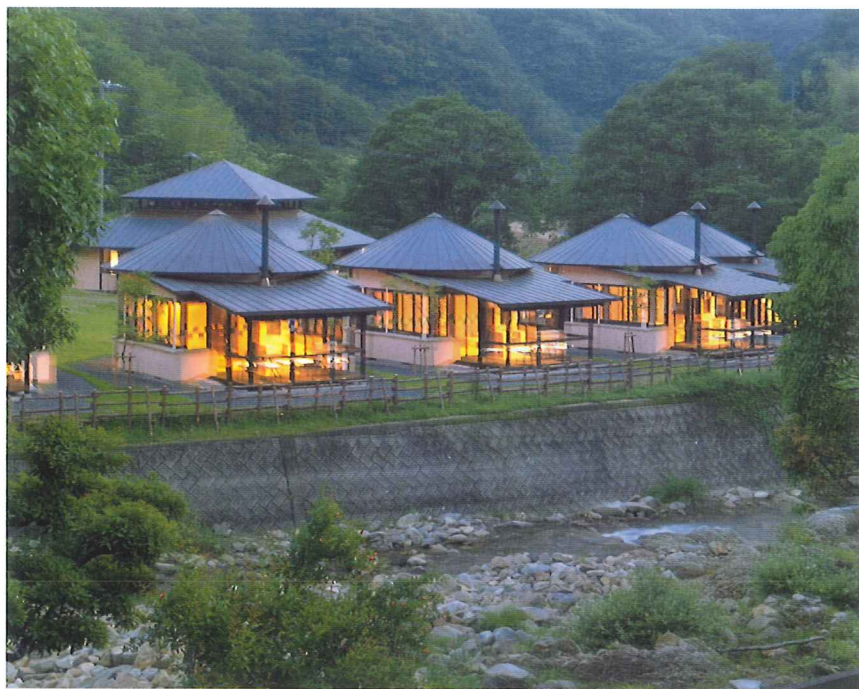
あやがわ ちょう

綾川町

柏原溪谷キャンプ村
「Tatutaの森」
幸せの原風景〜綾川の輝き〜



すいせんロード



柏原溪谷に広がるキャンプ場が「Tatutaの森」。せせらぎに沿った棚田の跡地に作られていて、お風呂(温泉)がついたコテージには暖炉の設備も。春夏はファミリーやグループ、秋冬は二人で訪れるのもおすすめ。



林野庁「水源の森百選」、「さぬきの名水」に選ばれた柏原溪谷。川遊びや森遊びにふさわしい溪谷には、奇岩怪岩の風景が続きます。



うどん発祥の地

空海の甥にあたる智泉大徳(ちせんだいとく)は空海から「うどんの祖」を伝授され、ふるさと滝宮の地で両親をもてなしたのが、讃岐うどんの始まりといわれる。



主基斎田お田植祭

大正天皇即位の大礼、大嘗祭のための米を栽培する主基斎田にこの地が選ばれ、毎年6月に当時の斎田風景を再現するお田植祭が行われる。

【問い合わせ先】

綾川町役場経済課 TEL087-876-5282

「水源の森百選」に選ばれた柏原溪谷には、涼やかな風が吹いている。ため池を渡る風は、ふとなつかしい思い出を運ぶ。降り立った電車の駅では、風が花の香りを届けてくれた。ここは、幸せの風が吹くまち。綾川の川面に、幸せの風が吹き抜ける。心真つ直ぐな人々が、大地の恵みを育てている。心温かな人々が、伝統の技を伝えている。心やさしい人々が、ともにしっかり支えあう。わたしのふるさと綾川。心寄せ合う人々のまち。綾川の川面に、幸せの明かりがゆれている。



千年余りの昔から雨乞い神事として踊り続けられた滝宮の念仏踊り

社と滝宮天満宮で行われ、全国に残る「念仏踊り」のルーツとされている。鉦と太鼓の鳴り響く中、陣羽織に羽織袴の踊り手が念仏を唱えながら大うちわを振って飛び跳ねるように踊る。昭和52(1977)年に重要無形民俗文化財に指定された。

滝宮の念仏踊り
自然と歴史が輝くまち〜偉大な足跡〜

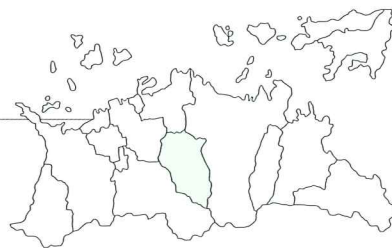
菅原道真公が讃岐の国司として滝宮の地に赴任していた当時の仁和4(888)年に大旱魃に見舞われ、道真公が身を捧げて雨乞い祈願をしたところ、大雨が降り、農民は滝宮神社の前で道真公に感謝して喜んで踊ったのが起源とされている。

その後、浄土宗開祖の法然上人がこの地を訪れた際、この踊りを見て「大声で念仏を唱えながら踊りなさい」と教えて、現在の振り付けになったものと伝えられている。

現在でも毎年8月25日に滝宮神社と滝宮天満宮に残る「念仏踊り」のルーツとされている。鉦と太鼓の鳴り響く中、陣羽織に羽織袴の踊り手が念仏を唱えながら大うちわを振って飛び跳ねるように踊る。昭和52(1977)年に重要無形民俗文化財に指定された。

DATA

総人口 25,288人
世帯数 9,285世帯
面積 109.67km²
人口密度 230.58人/km²





金刀比羅宮 御本宮

ことひら ちゅう
琴平町
 住んでよし 訪れてよし ことひら



こんぴーくん



町内を練り歩くお練り行列

「讃岐のこんぴらさん」の愛称で知られる金刀比羅宮を中心に発展した門前町として、年間約300万人の観光客が訪れている。春には、現存する日本最古の芝居小屋「旧金毘羅大芝居（金丸座）」で四国こんぴら歌舞伎大芝居公演が開催され、公演初日の前日は成功祈願の「お練り行列」で人気歌舞伎俳優が町内一巡し、一目見ようと大勢の人が沿道を埋める。



四国こんぴら歌舞伎大芝居公演の様子

【問い合わせ先】
 琴平町総務課 TEL0877-75-6700



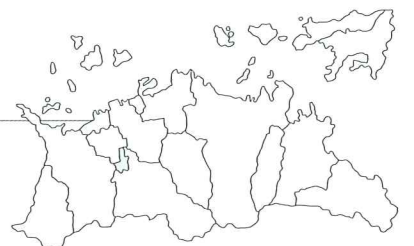
全国第2位のんにく生産地である香川県において、県内最大産地の琴平産にんにくは、小粒ながら辛みとにおいが強く、抗菌、抗カビ作用があるアリシンの含有量が多いことで知られている。このにんにくを町内の障害者就労支援施設で加工を行い、オリーブオイルの中ににんにくの成分を抽出させ、ガリックオイルを製造、ホテル、旅館、土産物店などで販売し「農商工福祉連携」をしている。



高さ日本一の高燈籠

DATA

総人口 9,865人
 世帯数 3,852世帯
 面積 8.46km²
 人口密度 1,166人/km²



た ど っ ち ょ う 多度津町

環境のまち

せせらぎとやすらぎ

みんなでいきいき暮らすまち



多度津町は、香川県の中部に位置し、南は讃岐平野、北は風光明媚な瀬戸内海国立公園に接している。古くから天然の良港に恵まれ、港を中心に発達してきた。明治に入り、四国最初の鉄道が開通したことで、鉄道と港の利点を生かした西讃交通の要衝として発展してきた。臨海土地造成事業を行い近代工業都市へと変貌し、また『環境のまち宣言』を行い『多度津町再生水利用計画事業』に取り組んでいる。

【問い合わせ先】
多度津町役場 TEL0877-33-1110



2500本のソメイヨシノが咲き誇る桃陵公園。
4月には「たどつさくらまつり」が開催されます。



白方ぶどう

西日本有数の種なしぶどう

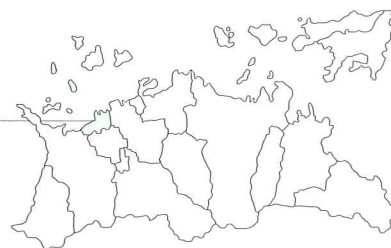
多度津町のぶどうの歴史は比較的古く、種なしぶどうの産地、奥白方地区にぶどうの苗木が栽培されたのは大正七年のこと。温暖な気候と水はけのよい傾斜地という好条件からいまでは「白方ぶどう」のブランド名で西日本有数の種なしぶどうの産地となった。白方地区には観光ぶどう園もあり、秋の収穫期にはぶどう狩りの家族でにぎわいをみせる。また、特有の風味を生かした多度津産「さめぎワイン」も好評。



さくらちゃん

DATA

総人口 23,610人
世帯数 9,767世帯
面積 24.34km²
人口密度 970人/km²



ちょう

まんのう町

ネイチャーリゾート「まんのう町」 風に乗って水と緑の里を旅する



「満濃池」は「日本の渚・百選」をはじめ、そのせせらぎが「日本の音風景百選」に、橋門が国の登録有形文化財に指定されるなど、多彩な魅力を有している。

雨乞い祈願の神として知られる大川神社。天平時代に始まる「大川念仏踊り」県指定無形民俗文化財が奉納される。



【問い合わせ先】

まんのう町 産業経済課 TEL0877-73-0105

町の名前の由来となる日本最大級の灌漑用ため池「満濃池」は、大宝年間に創築され、弘仁12(821)年に弘法大師空海が改修し、いにしえの時から多くの恵みをもたらしてきた。国指定重要無形民俗文化財の「綾子踊り」や「大川念仏踊り」といった雨乞い踊りも、昔から水不足に悩まされてきたこの地ならではのものである。春の新緑、夏の蛍、秋の紅葉と自然の風趣に恵まれた豊かな自然は、誇り高い歴史とともに人々に深く愛され続けている。



「満濃池のゆる抜き」讃岐平野の本格的な田植えシーズンの到来を告げるイベントとして、毎年6月中旬に行われる。この日を境に丸亀平野では一斉に田植えが始まる。

五感で満足 憩いとやすらぎ癒しの里

豊かな自然に溢れる「まんのう町」は、多彩な遊びや体験スポットがあり、キャンプ・自然散策からスポーツ・温泉施設が充実。イベントも数多く開催され、休日にはたくさんの方で賑わっている。



二宮忠八ゆかりの地 空への夢「鴉型模型飛行器」

まんのう町追上の「樞(もみの木峠)で、鴉が滑降する姿を見た二宮忠八は、空を飛ぶ「法則」を発見。明治24年に「鴉型模型飛行器」を飛ばすことに成功した。これは、ライト兄弟よりも12年も早い試みであり、動力飛行機が日本で初めて空を飛んだ瞬間であった。



忠八が考案した「玉虫型人力飛行器」の再現模型。その他、飛行館には忠八の生涯や航空機の歴史を解説するパネルなどが展示されている。

【問い合わせ先】

二宮忠八飛行館 TEL0877-75-2000



ソラちゃん

DATA

総人口 19,968人
世帯数 7,153世帯
面積 194.33km²
人口密度 102.75人/km²



香川県・まんのう町